

## <令和6年度担い手確保・育成強化事業費のうち>

### 「とやまの産地で就農・定着」促進モデル事業の概要

農業経営課

#### 1 目的

本県農業者の高齢化が進行する中、園芸産地を維持・発展していくため、産地の農業者、市町村、JA等の関係団体が「ワンチーム」となって、後継者（新規就農者）の呼び込みから定着までを一体的に取り組む受入体制モデルを整備する。

#### 2 内容

##### (1) 産地の受入体制整備

- ・協議会の設置
- ・産地就農受入プログラムの策定

産地や農業体験の紹介、就農までのステップに加え、求める人材像、人材育成の支援体制、収益モデルなど、新規就農者が産地での就農を具体的にイメージできる内容を発信

##### (2) 人材の呼び込み

- ・産地就農受入プログラムの発信
- ・就農相談会への出展
- ・産地体験イベントの開催（農作業体験会、マッチングバスツアーなど）

##### (3) 人材の育成

- ・受入体制整備
- ・中期研修（お試し雇用等）
- ・里親農家（先輩農業者等）による伴走支援

研修に要する農地・機械等のリース料や研修生の交通費・宿泊費（一部）等

##### (4) 就農定着

- ・里親農家（先輩農業者等）による伴走支援

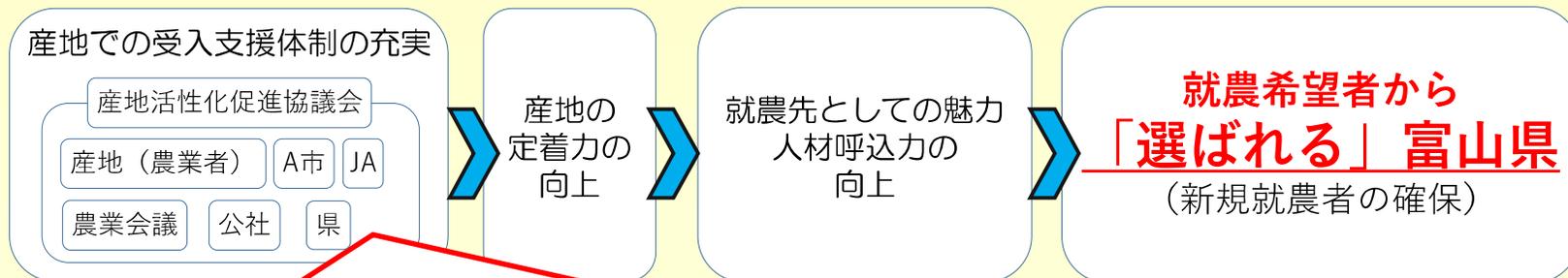
・研修中から就農後の一定期間新規就農者をサポートする「里親」を選定  
・技術（資格）やノウハウ、機械や施設、農地、資金、住宅の確保、就農後のフォローなど、マンツーマンで支援

#### 3 県予算額 6,000千円

（国：3,000（デジタル田園都市国家構想交付金）、県：3,000）

#### 4 実施期間 令和4年度～6年度

# 「とやまの産地で就農・定着」促進モデル事業 (6,000千円)



## 「とやまの産地で就農・定着」促進モデル事業

内容：産地としての新規就農者の受入プログラムを明確にし、後継者（新規就農者）の呼び込みから定着までの一体的な取組を実施（県予算額6,000千円）

### ①産地の受入体制整備

<取組内容>

- 産地の維持・発展に向けて、新規就農者の受入プログラムを策定

産地の求める人材像、人材の確保・育成方法やスケジュール、里親農家の選定・育成、収益モデルなどを明確化

<事業対象経費>

- 会場借料
  - 先進事例調査旅費
- など

### ②人材の呼び込み

<取組内容>

- 産地就農受入プログラムの発信
  - 就農相談会への出展
  - 産地体験イベントの開催
- 農作業体験会 など

<事業対象経費>

- イベント出展料、旅費
  - メールマガジン広告費
- など

### ③人材育成

<取組内容>

里親農家（先輩農業者等）による伴走支援

- 多様なニーズに対応した柔軟な受入体制の整備
- 短期～長期の研修、お試し雇用

<事業対象経費>

- 研修生の交通費・宿泊費（一部）や指導謝金
  - 研修に要する農地・機械等のリース料（掛かり増し）
- など

### ④就農定着

栽培技術、農地、機械、資金、住宅などマンツーマンで支援

<事業対象経費>

- 里親農家の設置費
- など